

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村
全体計画						経費区分		義務的経費		内線	3644
事務事業名	4285 保育所運営委託事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	02020900 子育て環境の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030202 民生費・児童福祉費・児童措置費									
	事業	010000 保育所運営委託事業									
事業目的						事業概要・効果					
乳児保育、延長保育などの保育ニーズに対応するため、委託により保育の充実を図る。						市内の7私立保育園、認定こども園、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託を行い、多様化する保育ニーズに対応した。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園29園に保育実施児童の委託	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託
平成29年度 実績	平成30年度 予定
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園23園に保育実施児童の委託	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園25園に保育実施児童の委託予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園25園に保育実施児童の委託予定	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園25園に保育実施児童の委託予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		435,354	450,000
特定財源	国庫支出金	147,410	167,836
	都道府県支出金	73,817	83,917
	地方債	0	0
	その他	87,279	87,349
一般財源		126,848	110,898
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	714.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	714.9	714.9
市民一人当たりの経費		8.3	8.6
総額		436,068.9	450,714.9

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	434,360	保育所運営費負担金
その他	994	給付費返還金994

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	450,000	保育所運営費負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育の実施は市町村事務である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保育ニーズは年々増しており、公立保育園だけではカバーできない	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	私立による事業実施は公立より効率的	

振り返り（決算年度の取組み課題）

計画通り保育の実施ができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>多様化する保育ニーズに対応するため、私立保育所、認定こども園に対し運営委託を実施することにより、保育の充実が図られた</p>		<p>生産年齢人口が減少する中において、保育ニーズは多様化している。私立保育園・認定こども園の活用は不可欠。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	